

教科(科目)	国語(論理国語)	単位数	2単位	年次	3年次
	必履修	必選択	総合選択		自由選択
使用教科書	大修館書店『新編 論理国語』				
副教材等	大修館書店『新編 論理国語学習ノート』、尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』、 尚文出版『国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版』、第一学習社『カラー版 新国語便覧』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、表現する資質・能力を育成する。

3 指導の重点

- ①漢字の読み書きや語句の意味調べ等を通して語彙を豊かにし、読解力及び表現力の向上を目指します。
- ②評論文を読んで、構成、展開、要旨などをとらえ、社会的な考え方を深め、自分の考え方を確立させることを目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言語を通して他者や社会に関わろうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第2部 1 自己をみつめて	4 B「読むこと」	探求する力	・筆者の問題意識をとらえて、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深める。	4	・授業への出席状況 ・話し合い
5	第2部 1 自己をみつめて	6 B「読むこと」	補助線を引きながら考える	・筆者の問題意識をとらえて、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深める。	6	・発表 ・授業への取り組み方
6	2 思考を深める	6 B「読むこと」	和の思想、間の文化	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。	6	・発問への解答 ・提出物
7 8 9	3 社会に向かって	18 A「書くこと」	志望先への提出書類 志望理由書を書こう (自己推薦書を書こう)	・副教材「パーフェクト演習」を使用しながら、語彙力・文章力を高めるとともに、進路先への提出書類等を書く。 ・必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書等を書く。	18	
10	4 視点を变えて	7 B「読むこと」	人類の進化から考える 「心」の誕生	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。	7	・授業への出席状況 ・話し合い
11	4 視点を变えて	7 B「読むこと」	クオリアと心	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。	7	・発表 ・授業への取り組み方
12	5 問いを深めて書く	10 A「書くこと」	問いを立てて書こう 文章を読んで書こう	・テーマをもとに問いを立てて小論文を書く。 ・抽象的なテーマから問いを立てる方法を身につける。	10	・発問への解答 ・提出物
1	6 現代を考える	6 B「読むこと」	政治の本質	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想の仕方や論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る。	6	
2 3	7 未来に目を向けて	6 B「読むこと」	人口減少社会の到来 豊かさとながら	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・さまざまな資料を参照しながら文章を読み、筆者の考えをとらえる。	6	

計70時間（50分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 28 時間	B「読むこと」 42 時間
-----------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・タブレット端末を使用し、グーグルクラスルーム等指示された方法で課題を提出する。（適宜担当の指示に従うこと）
- ・長期休業中の課題も答え合わせをして提出することとする。

7 担当者からの一言

私たちは言葉を使って考え、理解し、伝えます。社会の一員として生きていくために必要な国語の力を一緒に養い身に付けていきましょう。